

これまでの集大成

●多くの部活動等の大きな目標となる「阿蘇郡市中体連夏季大会」が6/25(土)、26(日)、7/2(土)に、各会場で開催されました。

●雨の影響で日程等の変更があった競技もありましたが、本校生徒関係では、予定されていた期間で大会を終えることができました。

●各会場で生徒たちはこれまで積み上げてきた努力の成果を、精一杯表現していました。プレッシャーに負けまいとする姿、自分そしてチームメイトを奮い立たせようとする姿、最後までベストを尽くそうとする姿。その一つ一つの真剣な姿が深く印象に残っています。

●大会を振り返って、「今のバレー部の仲間と中体連に出られて楽しかったし、うれしかった。部活で学んできたことは、絶対将来にも生きるから、学んだことは忘れずに、これからの生活に生かせたらと思う。」と綴っている生徒がいます。部活動を通して着実に成長を重ねてきた様子が伝わってきます。

●スポーツ競技は元来勝敗が分かれるものです。7月中旬から始まる県大会への出場も、今大会の結果で決まってくると思います。全員が今回の結果に満足できるものではないと思いますが、勝ち負けを超えたところで得たものが確かにあったはずです。

●大会を迎えるまでの期間には、自分自身の努力の積み重ね、チームメイトとの信頼関係と絆、保護者や指導者の方からの心強い支援など、欠かせないものがたくさんありました。そうしたことを「これまでの集大成」として感謝の思いとともに、改めて振り返り自覚することで、生徒たちが次なる高みを目指そうとする意欲と姿勢を身に付けてくれることを心から期待しています。



【選手推戴式より】

社会で支える

●7/1(金)に「西原村保護司会」の代表の方が本校を訪問され、「社会を明るくする運動」の啓発の一環として、全校生徒に消しゴムを贈られました。



マスコットは「更生ペンギン」。ペンギンに、「飛ばない＝非行しない」という願いが込められています。

●保護司の人数は全国で52,500人と、法によって定められていますが、現在はその数を下回っているそうです。

●保護司は、犯罪や非行により「保護観察」を受けた人の生活の見守りや相談・指導に加え、犯罪予防のための地域活動に取り組みます。ボランティアでの活動になりますが、社会にとって欠かせない仕事です。ちなみに西原村には4人の保護司がいらっしゃるそうです。

●以前は全校生徒が揃った場で贈呈式があったようですが、新型コロナの影響で生徒会長の東知郎さん、副会長の吉田莉乃さんと山下寛大さんが代表して受け取りました。

●犯罪・非行の防止や罪を犯した人たちの更生、そしてそうしたことに関わっておられる保護司の方々の活動について、理解を深めるための機会としたいと考えます。



授業参観・懇談会について

●1学期末の「授業参観・学年(学級)懇談会」を、終業式前日の7月19日(火)に実施する予定です(明日案内を配付します)。

●懇談会では1学期の学校生活や今後の予定、夏休みの生活等についての話し合いを予定しており、2年生と3年生においては修学旅行についてもお話しする計画を立てています。

●新型コロナの感染状況によっては、開催のあり方を変更する可能性があります。その際は、「安心・安全メール」でお知らせしますので、よろしくお願いいたします。